

(様式1-2)

I 学校の概要

主体的・対話的で深い学びの実装推進モデル校事業

綾川町立綾川中学校

◆学校の特色

本校は、令和4年度に旧綾上中学校・旧綾南中学校の統合を経て開校し、本年度開校5年目を迎える。学校教育目標「思いやりと広い心で ともに生きることを学ぶ。知性と創造性を磨き 世界に生きることを学ぶ。」のもと、学校スローガン『ともに チャレンジ! ～ 美しい「あ・や・が・わ」の進化 ～』を掲げ、「一人」を大切に全員参加の教育活動を目指して日々の指導を展開している。

本校の生徒は、他者との協働をいとわず、授業や学校行事、部活動等に一生懸命取り組む反面、主体性や粘り強さにはやや物足りなさを感じる。令和6年度には、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現推進モデル校事業を委託され、「指導の個別化」及び「学習の個性化」を目指して共通実践を重ねた。この取組を基盤として、協働的な学びとの一体的な充実に向けて研究推進に取り組んでいるところである。

II 研究主題等

研究主題

ともに楽しむ授業づくり

～ 分かる、できる、全員参加の楽しい授業を目指して ～

◆研究主題設定の理由

本校の生徒は、授業の開始前に準備物を整えたり、時間にゆとりをもって着席したりするなど、学習規律「綾川きりっと六か条」を実践しようとする風土が定着している。また、授業中は真剣に話を聞き、学習課題に一生懸命に取り組もうとしたり、話し合い活動においても学習内容に即した対話を展開しようとする姿が見られる。一方で、全国学力・学習状況調査及び県学習状況調査の結果からは、学力の二極化が明らかとなった。さらに、家庭学習に対する取り組みなどを通して、学びに向かう意欲や態度についても二極化が顕在化している。こうした状況を改善するために、授業改善を推進していくためのキーワードとして、「分かる」「できる」「楽しい」「全員参加」を掲げるとともに、教員と生徒が一緒になってともに授業をつくっていくことが重要であると考え、研究主題を設定した。

◆研究内容及び方法

- ①『綾川きりっと六か条』を基盤とした指導の展開
- ②学習指導過程の工夫
- ③教職員研修の充実

III 成果の評価計画（検証方法）

- ①生徒による授業評価アンケート
- ②生徒による学習・学校生活アンケート
- ③教員対象アンケート

IV 研究成果の普及方法

- ①公開授業
- ②香川の教育づくり発表会での発表